

# 平成25年度 小美玉市立堅倉小学校 学校関係者評価書

小美玉市立堅倉小学校 学校関係者評価委員会

## 1 学校関係者評価委員会の総評

- 先生方は、子ども達への指導を一生懸命に行っている。校内研修に力を入れ、ベテランの先生も若手の先生も、教え合い学び合いながら指導力が向上している。
- 全体的に子ども達の学習態度が落ち着いており、先生の方に向かって、教室が一つのこと集中している雰囲気を感じられる。「学校生活が楽しい」と感じる子どもの姿が見られた。
- 家族の生活スタイルが変わり、家族そろって食事をしたりいろいろな話題について話し合ったりするなど、一緒に何かをする機会が減る傾向にある。一つのテーマについて親子で話し合う「堅倉小親子会議」の取組は、これからもぜひ継続してほしい。
- 家族の団らんを楽しむ経験を通して、お箸の持ち方・食事のマナー・食材に関する知識などを教える「食育」を、家庭でも意識して行うように呼びかける必要がある。

## 2 分野別評価

### 【学習指導の工夫改善】

- 指導力の向上が、学習形態や板書などの工夫にも見られた。さらに授業研究に意欲的に取り組んでもらいたい。
- 学んだことを自分のものにして、言葉や文章、作品などの方法で表現するレベルが高いと感じた。子ども同士が、互いに見合ったり聞き合ったりする機会をもつことは大変よい。今後も、子ども達が表現することを楽しめるような指導に力を入れてほしい。
- 鉛筆の持ち方は、学力向上と関連して重要である。正しい持ち方とあわせて正しい姿勢も身に付けさせてもらいたい。

### 【温かな人間関係づくり】

- 児童アンケートの「他の人の気持ちになって考え、励まし合う学級になっている」、「友達の将来の夢や希望を知っている」、「相手の身になって考え行動している」という項目の数値が低く、保護者アンケートでも「やさしさや思いやりのある子どもを育てている」という項目についての満足度が低いという説明があった。
- 学校でも「夢や希望について語り合う場」を意図的に設定し、「思いやりの心」を学校・家庭・地域が協力してはぐくむようにしたい。

### 【家庭や地域との連携】

- 「学校は教育活動の様子や成果・課題などについて情報を提供している」「文書やたよりをよく見ている」と答えた保護者が多い。しかし、「相談しやすい雰囲気がある」と感じている保護者は多いとは言えない。先生方から積極的に声をかけながら、保護者の思いや願いを受け止めていくように働きかけてもらいたい。
- 学校支援ボランティアの取組については、コーディネーターを中心に有効に活用され軌道に乗っているようである。活動の時期や内容などについて、年度初めに具体的に年間計画が提示されると、さらに参加者の輪が広がり充実してくると思われる。